
所 属 : 国際学部

職・氏名 : 准教授 西田 竜也

U R L : <http://intl.hiroshima-cu.ac.jp/professor/nishida.html>

研究キーワード : 安全保障、外交、国際関係、アメリカ、東アジア、同盟、
アジア太平洋、平和構築

■研究テーマ

① テーマ：集団防衛同盟の起源と発展過程

概要：北大西洋条約機構（NATO）に代表される集団防衛同盟は、同盟国のうち一国でも攻撃を受ければ同盟国全てが一致して、攻撃した国家に対して断固たる対応をとることを実質化したものであり、これは世界史において数多く結ばれた同盟の中でも稀なものです。本研究はどのような条件が成立すればそのような同盟が可能となるかを分析しました。

② テーマ：平和構築

概要：本テーマは、紛争を経験した国家や紛争に陥りやすい国家をどのようにすれば、安定的かつ民主的な国家へと転換できるのかを分析します。その上で、軍事介入や政府開発援助（ODA）を中心とした外部からの介入は、どのような条件が成立すれば成功するのかを追求しています。

■研究テーマの応用例

①アジア太平洋地域の安全保障システムのあり方の再検討：これからのアジア太平洋地域における安全保障システムのあり方、そして日米同盟のあり方はどうあるべきか、さまざまな安全保障システムのオプションを検討し、そのメリットとデメリットを分析し、政策に応用することが可能です。

②平和構築：日本政府が平和構築を政府開発援助「ODA」において重点分野とし、今後この分野における支援が増えることが期待される中、どのような平和構築支援のあり方が最も効率的で効果的であるかにつき、政策提言することができます。

■主な著書、発表論文

- ・外務省「21世紀に向けてのODA改革懇談会 最終報告書」（1998年2月）原案作成担当
- ・国際協力事業団（JICA）日加合同平和構築評価調査報告（2002年6月）原案作成担当
(http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/tech_ga/after/cam_01.html)
- ・国際協力機構（JICA）「特定テーマ評価 パレスチナ難民支援評価」報告書（2006年6月）原案作成担当
(http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/tech_ga/after/pdf/2006/pale_01.pdf)
- ・「均衡理論（balancing・セオリー）から見た米国一極体制」『国際政治』第150号（2007年11月）
- ・“Incomplete Alliances: A Comparative Analysis of the Hub-and-Spoke System in the Asia-Pacific” ハーバード大学博士学位論文（2009年6月）
- ・「アジア太平洋地域における安全保障システムの一つのオプション：太平洋条約の経験から」『国際政治』第158号（2009年12月）

■主な特許、芸術作品等

- ・特になし。

■想定される連携先

- ・日本政府、特に外務省、防衛省、国際協力機構（JICA）
- ・国連を中心とした国際機関
- ・研究機関・大学
- ・NPO/NGO